

ヒューストンの最新治安情報と対策

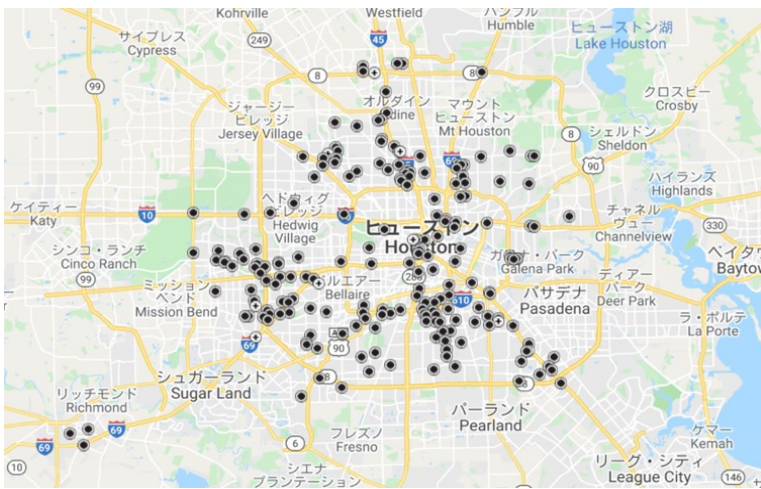
一旦落ち着いた見せたコロナウィルスの感染状況が、より感染力の強いデルタ株の影響により再拡大が懸念される状況にあるのに加え、昨年来より大きな話題となっているヘイトクライムや銃使用による犯罪等は増加傾向にあります。私たちの海外での安全な暮らしを守るために重要な点の一つである治安問題について、現在の状況とその対策をまとめましたので、是非一読お願いいたします。

1 ポストコロナでも銃使用事案は多発傾向

(1) 銃使用犯罪や殺人は依然として多発

コロナ禍において、ヒューストン(当地)では、米国の他の大都市と同様、銃使用犯罪や殺人の発生件数が急増しましたが、ポストコロナを迎えつつある中でも、昨年を更に上回るペースで発生しており、依然として改善の兆しが見えていません(報道によれば、6月10日時点で、殺人事件が199件発生しており、これは昨年同時期と比べて35%増とされる)。

また、本年3月にアトランタのマッサージ店で銃乱射事件が発生して以降、コロラド州のスーパーマーケットやインディアナポリスの「FedEx」施設に加え、6月には、テキサス州オースティンの繁華街でも発生するなど、各地で連鎖的に銃乱射事件が発生しており、当地においても銃使用の凶悪事件発生が増加が懸念されています。



《2021年1月～6月/ヒューストン市内における殺人事案発生状況》

「Community Crime Map (Lexis Nexis社)」より

(2) 「Road Rage」も高水準で発生

同様に、コロナ禍を背景として多発した「Road Rage (他のドライバーの「割り込み」や「追い越し」等交通マナーを起因として生じた怒りによって暴行・傷害に発展する事案)」も、当地で継続して発生しています。接触行為に至らず身体に実害の伴わないケースもありますが、多くの場合、口論から暴力沙汰にエスカレートし、最悪の場合は銃使用による殺人事件にまで発展する事例が発生しています。

(3) 銃使用の可能性を踏まえた対策

こうした一連の銃使用事案の多発傾向に関し、専門家は、パンデミック下のストレスの増大に加えて、昨年の銃販売件数の記録的な増加(とりわけ新規購入者が急増)等が要因となっている可能性を示唆しています。今後、ますます人の流れが活発になり、公共の場で集う機会が増加していくことを考慮すると、あらゆる場面で、銃が使用される現場に遭遇する可能性を想定した対応が必要です。

安全確保のためのポイント

その1 平素の心構え：安全のための3原則の徹底

- ①目立たない ②行動を予知されない ③用心を怠らない

その2 銃撃現場遭遇時：現場離脱が基本

(状況によってはその場で身を隠す)

離脱時のポイント「遮蔽壁を利用」、「姿勢は低く」



2 アジア系への憎悪犯罪(ヘイトクライム)懸念

(1) 不安が払拭できないヘイトクライム

ワクチンの普及により長いパンデミックのトンネルから抜け出そうとしている中で、当地においても暗い影を落としているのが、全米各地で発生しているアジア系へのヘイトクライムです。これまで(7月6日現在)、ニューヨーク市や西海岸と比較すると、当地ではアジア系へのヘイトクライムの発生件数は少なく、また、総領事館でも邦人の方が被害となった事例の情報はありませんが、今後の展開によっては一気に拡大する可能性もあり、依然として懸念が払拭できない状況にあります。

(2) 危険を予測した対策

これまでの被害では、単独徒歩の女性や高齢者を標的とした事例が多くなっており、これらを踏まえると、外出時は可能な限り複数で行動することが有効と思われます。また、周囲の状況を見極め、警戒を怠らないことが極めて重要です。当地への駐在期間が長くなると、慣れとともに油断しがちになりますが、歩きスマホや人通りのない道を歩くことは、相手に隙を見せることとなり、標的となるリスクを高めますので、絶対に避けて下さい。

(3) 渡航者(出張者、旅行者)に向けた安全対策

今後、生活が徐々にコロナ以前に戻るに伴って、当地への渡航者も増加すると予想されます。外務省では、海外で「被害に遭いやすい場面」を想定した具体的な安全対策をまとめた動画(再生時間10分)を制作しましたので、ご覧いただけますと幸いです。



アニメーション動画「海外安全劇場～リスクを知ってしっかり対策～」

(文責: 総領事館)

お役立ちサイトリンク

Nextdoor : 日頃から近所での事件やお役立ち情報、便利情報入手できて助かっていますが、ハリケーンや大寒波といった非常事態の際には、「このお店が空いている」、「こんなデマが出回っているから注意！」などの情報にとっても助けられます。

Sex Offender Registration : テキサス州では性犯罪歴を持つ人の登録情報を公開しているため、特にお子様をお持ちの方は家を探す際に確認することをお勧めします。ハロウィーンでTrick-or-Treatingに子供達が出かける際も事前に地域の地図を確認し、必ず大人が同行するようにしましょう。